

学校だより

はす

ぬま

ちゅう

かがみ

蓮沼中鏡

平成26年度 第19号
平成27年3月20日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大原章博

第59回卒業証書授与式 校長式辞

やわらかな日差しが日一日と暖かさを加え、木の芽のふくらみが一段と大きくなってきました。ただ今、卒業生に卒業証書を授与させていただきました。一人一人の表情に蓮中の卒業生として、喜びの晴れやかさとともに新たな人生への出発の決意が感じられ、とてもうれしく思いました。九十四名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝いをいたします。(中略)

卒業生の皆さん、今、手にしている卒業証書は、皆さん一人一人が中学校三か年の全過程を、自分らしく輝き、頑張りぬいたという大切な証です。みなさんの成長とかけがえのない思い出の詰まった卒業証書の重みをしっかり受け止めてほしいと思います。まさに学び舎を巣立ちゆくこのとき、卒業生の皆さんの胸には、どのような思い出が駆け巡っているのでしょうか。期待と不安の入り混じった三年前の入学式の日から、楽しかったことやうれしかったこと、悔しかったことや涙が止まらなかった日もあったかもしれません。あれから三年、語り尽くせない思い出の中、三年生の学校行事などで見せてくれた頑張りや、後輩の良き手本でした。一年生から様々なことに挑戦し、仲間とともに困難や課題を乗り越え、深まった友情や仲間意識は、多くの人とのかかわりを通して学年を重ねるたびに強くなったのではないのでしょうか。そして、今日のこの式が終わり、お父さんやお母さん、家族の方にあつたとき「ありがとう」のひと言をお願いします。「親思う心にまさる親心 けふのおとずれ なんとときくらん」これは、今、大河ドラマで描かれている吉田松陰が親にあてて書いた辞世の句です。子どもが親を思う心よりも、親が子を思う、慈悲の心のほうが、深いと言っています。小さいころから、君たちの成長を祈り、見守り、考えてこられたのは後ろに座っているお父さんやお母さんや家族の方です。雨の日も、風の日も、暑い夏も、寒い冬も、君たちの笑顔を喜び、ふさぎ込んでいたら心を痛め、ひたすら君たちの成長を願い、この日を、心待ちにしてこられました。本当に心をこめて「ありがとう」と言ってほしいと思います。

「ありがとう」という言葉を考えると、卒業生の皆さんは、この三年間に「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」の三つの美しい言葉をどれだけ使ったことでしょうか。私たちは、「ありがとう」の言葉の数だけ、優しくなります。「ごめんなさい」の言葉の数だけ、賢くなります。「さようなら」の言葉の数だけ、人の愛を知ります。たくさんの「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」を繰り返して私たちは成長していきます。そんな皆さんの姿を見つめながら思うことは、「未来のあなたは、今のあなたのがんばりにきっと感謝する」ということです。努力しているからこそ多くの壁にぶつかり、悩み苦しむからこそ、自分の殻をやぶって新しい自分へと成長していきます。経験に無駄なものはなく、すべての経験が、自分の成長の証となっていきます。

さて、皆さんの卒業にあたり、次のことをはなむけの言葉として贈ります。それは「志は大きく、愛は細やかに」という言葉です。実は、この言葉は、私が小学校の卒業記念品としていただいた英和辞典の裏表紙に、担任の先生が書いてくださったものです。「未来を生きる人間として、志を大きく持つと、努力することができる。その実現に向かって、頑張れる。しかし、自分だけのためではなく、愛の心を持って、人々を幸せにする、人々の幸せに役立つための志を持たなくてはいけない。」と言っているのです。社会では、自己中心的な風潮が強く、皆さんもその影響を受けたことがあったことと思います。しかし、自分さえよければいいという考え方は、これからの社会を生きていく上では、通用しないと思っています。これと同時に他人に迷惑さえかけなければ、何をしてもいいという人もいます。これも、間違った考えだと思っています。そこで、皆さんには「目標を持って生活し、広く社会に貢献する人」になってほしいのです。

人間は一人では生きていけない存在です。自然や多くの人々、親・先生・友達はもちろん、それぞれの持ち場で頑張っているたくさんの人々に支えられて、今日の自分があることを忘れてはなりません。人間は、一人ぼっちではないのです。常に希望を持って、意欲的に何事にも挑戦し、広く社会に貢献する人になってください。

今、社会は激しく変化しています。このような時代に、皆さんが活躍し、広い視野に立って自分の意見を発表し、誰とでも協力し、思いやりの心をもって、たくましく生きる人間になってください。 《裏面につづく》

最後になりましたが、保護者の皆様方、お子様のご卒業おめでとうございます。お子様の新しい門出を心よりお祝い申し上げます。立派に成長されたお子様の姿を前にして、今様々なご苦労が心に浮かんでいることと存じます。義務教育を終え、国民としての務めも一段落ですが、まだまだ保護者の目線、さしのべる手が必要です。それがお子様の生きる糧となります。その反面、お子様の自立のために背中も押してあげてください。自分でやりなさい、いつまでも頼ってはいけない、そんな姿勢も必要です。寂しいかもしれませんが、厳しい目で自立への道を歩ませていただくようお願いいたします。あわせて、三年間にわたって、本校の教育活動に手を携えてご協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。

卒業関連行事

救命救急講習

9日に救急救命講習を行いました。

心肺蘇生法を中心とした講習会でした。AEDの使い方や、人工呼吸等の方法について学びました。



球技大会

10日は、球技大会でした。あいにくの空模様で、体育館でのドッジボール大会となりました。

優勝は、B組でしたが、熱が入った試合展開になりました。



美化活動

11日は、今まで使用してきた教室に感謝の気持ちを込めて美化活動を行いました。

組別別れ会

10日には、1組で3年生への感謝の気持ちをこめて、お別れ会が開かれました。レクリエーションや、各生徒が考えた出し物などを行い、楽しく過ごしました。



卒業遠足

13日には、中学校生活最後の思い出づくりとして、東京ディズニーランドに卒業遠足に行きました。



生徒の活躍

ボランティア……ヤングフェス Oh!!盛祭・ボランティアスタッフ参加 (2年・関根、広瀬) 3/15